

災害のない年に

決意新たに消防出初め式

邑久町公民館で1月15日、市消防出初め式が開催されました。消防団員ら約400人が出席。

開式の辞の後、太田英晴消防本部消防長が「539人の消防団員の皆さんとともに、市民の生命と財産を守るべくさらなる精進をし、災害のない平和な年となるよう祈念します」と式辞を述べました。
その後、新入団員に辞令が交付され、岡山県知事表彰功労賞の今田勝消防団長をはじめ、56人と1団体に表彰状が授与されました。
災害が発生するといち早く現場に駆け付け、活動する消防団。市民の皆さんも日ごろから防災意識を持ちましょう。



厳粛に挙行された市消防出初め式



市民の生命や財産を守るべく災害があればすぐに活動する消防団員の皆さん

いざというときに備え

今城地区で歳末防犯防災大会

今城地区の歳末防犯防災大会が12月11日、今城小学校のグラウンドで開かれました。
年末を前に、地域で防犯や防災に取り組もうと始まり、今年が4回目。起震車体験やほしご車体験試乗、消火器での初期消火など、体験の催しが盛りだくさん。家族4人で参加していた平田正人さん(33歳・邑久町向山)は、「災害は、突然起こる。普段はできない体験ができる貴重な機会なので、参加しました」と話し、各コーナーを回っていました。
地域の皆さんが家族連れで次々に訪れ、いざというときに備えてさまざまな体験をした有意義な大会でした。



家族連れらが起震車で揺れを体感

長寿を祝い訪問

萩野喜代子さんが100歳

12月21日に萩野喜代子さん(牛窓町牛窓)が、100歳を迎えました。柏葉備前県民局健康福祉課長や東原和郎助役らがお祝いに、入所しているあじさいのおか牛窓を訪問しました。
東原助役の「これからも体に気をつけて、みんなと仲良く、さらに長寿をまっとうしてください」とのお祝いの言葉に、萩野さんは「ありがとうございます」とうれしそうに答えました。いつも明るく裁縫が上手な萩野さん、これからもお元気で過ごしてください。



萩野さん(左)を祝う東原助役

考古学ファンら詰め掛ける

寒風古窯跡群で現地説明会

瀬戸内市教育委員会が発掘調査を進めている寒風古窯跡群で12月18日、現地説明会が開催されました。市内外から100人を超える考古学ファンが詰め掛け、寒風古墳の須恵器敷き横穴式石室などを見学しました。
瀬戸内市教育委員会は、南端にあたり、飛鳥時代を中心(7~8世紀初頭)の約100年間の長期間にわたり須恵器が焼かれた遺跡です。
社会教育課若松孝史主任が石室について説明。見学者は熱心に聞き入っていました。本市は今後も史跡整備に向け、窯跡の竪穴遺構の発掘調査を行う予定です。



参加者の皆さんは、現地で若松主任の説明に耳を傾けました

楽しみながら書いたよ

新春恒例の習字練習会

新春恒例となった習字練習会が1月5日、邑久町公民館で開かれ、小学生ら20人が参加し、千支の「戌」をいろいろな書体で表現しました。
講師は、書家の奥田桂峰さん。子どもたちは、楷・行・草・篆・隸書、象形文字とさまざまな手本の中から好きなものを選び、色とりどりのポスターカラーで伸び伸びと筆を走らせました。
作品は後日、邑久町公民館ロビーに展示され、訪れた皆さんを楽しませていました。



伸び伸びと筆を走らせ、思い思いの「いぬ」を書く子どもたち